

平成 23 年度 第 2 回 専門医制度委員会議事録

【開催日時】2011 年 10 月 20 日（木）7：30 - 8：30

【開催場所】前橋さくらホテル 3 階会議室 『桐』（群馬）

【議題】

1. 脊椎脊髄病領域における専門医制度についての 4 者協議会報告（資料 1）

中村博亮理事から報告

平成 23 年 10 月 1 日、日本整形外科学会会議室にて日本脳神経外科学会（以下 JNS）、日本整形外科学会（以下 JOA）、日本脊髄外科学会（以下 JSSS）、日本脊椎脊髄病学会（以下 JSSR）の 4 者代表により、脊椎脊髄病領域における専門医制度構築について協議がなされた（資料 1）。同協議会において JNS、JOA がそれぞれ JSSS、JSSR の 1 階建て部分となることを確認し、JSSS、JSSR 双方の合意のもと、共通の専門医制度を構築していくことが確認された。

具体的には、協議会と作業部会で構成し、作業部会では具体的な事務作業を、協議会では問題点確認時の協議を行う場とする。

戸山芳昭アドバイザーから

専門医制度は 1 階部分に 18 の基本領域（JOA、JNA などが相当する）があり、われわれの目指す専門医はこれら 18 領域の 2 階建て部分に相当する Subspecialty 専門領域の一つである（現在 35 の Subspecialty が認定されている）。Subspecialty の認定には基本領域学会の承認が必要であるため 4 者協議会が開催された。

長谷川委員長から

今後の本委員会の方向性については協議会、作業部会の結果をまって進行する。JSSS/JSSR 作業部会メンバーは本委員会から選出されるべきである。

2. 脊椎脊髄手術症例報告（資料 2，3，4）

日本整形外科学会が実施した JOA 認定施設に対する 2009 年 6 月～7 月期の手術実績報告から脊椎脊髄病関連の項目について加藤剛委員から報告があった（資料 2,3,4）。

戸山アドバイザーより、JSSR でも全例登録制にすべき時期に来ているのではないかと提案があった。現在、外科では全例登録制になっており、全例登録制に向けて外科での現況がどのようになっているかなどをも含め情報収集していくこととなった。

4. 次回委員会の開催について

次回開催予定は未定。合同作業部会が開催された後とする。